

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。
本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和元年度

三重県青年・女性漁業者交流大会
— 1/11 (土) 三重県松阪庁舎 —



1月11日(土)、三重県松阪庁舎において令和元年度三重県青年・女性漁業者交流大会(主催：三重県)が開催された。

この大会は、県内の青年及び女性の漁業者が活動内容の発表や情報交換を行うことにより、生産技術の向上・経営改善等につなげることを目的として、毎年開催されている。

審査の結果、三重県知事賞には、磯部地区イトノリ養殖研究会(発表者：大形能彦氏)の『伊雑ノ浦での藻類養殖復活への挑戦』が選ばれた。

知事賞を受賞した上記取組みは、3月3日(火)～3月4日(水)にかけて東京で開催される第25回全国青年・女性漁業者交流大会へ県代表として出場する。

また、当日は、鳥羽商船高等専門学校教授の江崎修央氏による、『漁業におけるIT活用の取組みについて』の講演が

あり、海洋観測ブイやドローン、人工知能による自動給餌機などITを活用することにより、今後の漁業における効率化、省力化等を実現させていこうという内容であり、来場者は興味深く聞き入っていた。

三重県青年・女性漁業者交流大会

【発表内容】

(1)「ヒロメ養殖に取り組んで ～さんま棒受網に代わる新たな漁業の開拓～」

熊野漁協ヒロメ養殖研究会 濱田徳光氏

※漁連会長賞

(2)「伊雑ノ浦での藻類養殖復活への挑戦」

磯部地区イトノリ養殖研究会 大形能彦氏

※三重県知事賞

(3)「伊勢湾の恵み未来へ紡ぐ ～大淀漁師は頑張っています～」

伊勢湾漁協大淀支所 西村元裕氏

※漁連会長賞



(イトノリ養殖研究会の大形氏：左)

三重の技+海苔選考委員会

- 1月9日(木) 松阪市 -



1月9日(木)、松阪のり流通センターにてみえの技+(プラス)海苔選考委員会が開催された。『みえの技+海苔』とは、三重県の実産物の海苔の差別化を図り、市場価値を高めることを目的として、平成26年度より取組みが始まったもの。味にこだわった海苔を別等級で扱うため「みえの技+海苔選考委員会」を設置し、選考委員による海苔の格付け審査を行い、厳正な審査の上格付けが行われている。今年度の第1回目の選考委員会は、漁協から推薦のあった生産者1名のノリに対して審査を実施。

その結果、技+海苔として認定され、11日(土)に開催された第3回共販において最高値となった。

黒のり第3回共販(1/11)
枚数：16,235,000枚
平均単価：1,517円
最高値：5,200円

三重県資源管理研修会のご案内

- 1月28日(火) 松阪にて -

三重県資源管理協議会では、1月28日(火)13時30分より松阪市のフレックスホテル3階 平安の間において、

三重県資源管理研修会を開催予定。

本研修会では、環境変動と漁業の関係性を学習し、今後取り組むべき資源管理方法を検討するほか、新たな資源管理システムと県内水産資源の最新情報の報告等盛りだくさんの内容となっている。

近年の高水温が漁業にどのような影響を及ぼしているかについては、漁船漁業に関わらず、養殖漁業にとっても非常に重要な問題となっており、今後の漁業の参考になればと考えている。

参加費は無料となっているので、皆さんお誘いの上ぜひご参加ください。

【日時】

2020年1月28日(火)13時30分～

【場所】

松阪フレックスホテル3階 平安の間

【研修内容】

①「環境変動と漁業の関係—気候変動が水産資源に及ぼす影響—(仮)」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構理事
中田 薫 氏

②「漁業法の改正と資源評価について(仮)」

三重県農林水産部漁業環境課 漁協・資源管理班
牧野 朗彦 氏

③「県内の資源動向について(仮)」

三重県水産研究所 資源管理・海洋研究課
笹木 大地 氏

【主な予定】

○1月24日(金)

黒のり第4回汐(松阪)

○1月31日(金)

青さのり第1回汐(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。